

群馬県庁

群馬県企画部国際戦略課

群馬県環境森林部林業振興課

社会情報学部 情報社会科学科 3年

宇田竜太

大きな収穫

平成28年8月22日から9月2日までの10日間、群馬県庁にてインターンシップが開催されました。私は1週目に企画部国際戦略課にて、2週目は環境森林部林業振興課にてお世話になりました。企画部国際戦略課は私の第一希望先でした。昨年、国際戦略課で開催された、「ぐんまのいいとこ伝え隊」と「ぐんまグローバル塾」に興味があり、参加させていただきました。参加後、私はこれらの企画がどのように作られ、今日に至ったのか非常に興味をもちました。そこでこの度、インターンシップでその疑問を解決したく、参加させていただきました。企画担当の方にお話をお伺いすると、細かな配慮をされていて、驚きました。ぐんまのいいとこ伝え隊では、ご飯を食べる場所の選定です。参加者の中で宗教やアレルギーの関係で食べられない食材があることを考慮したり、大人数でご飯を食べるため、一般客に迷惑がかからないような比較的大規模なお店の中から選定したりと様々な配慮をされていることを学びました。また、ぐんまグローバル塾では実習先を英語圏でかつ有名な地域にすることで、多数の応募者を募れるように工夫がされていました。私はそれぞれの企画に参加した時は、企画を楽しめ、充実した気分になっておりましたが、それまでには御機関の方々のご苦労があったことを考えると、感謝しきれません。皆様に心から御礼申し上げます。

一方、環境森林部林業振興課は私の希望先ではなかったため、当初は不安でした。しかし、現地調査や実際に体験することを通して、林業が身近になっていきました。群馬県はかつて日本一の生しいたけ王国でした。それには群馬県の位置や資源、歴史が関係していました。他にも、中山間地域の貴重な働き場であったことも知りました。一つの食材とっても様々な背景があることを学びました。また、ハーベスタやチェーンソーの操作体験をさせていただきました。普段、操作している人を見ると、「随分簡単に操作しているから私にもできそうだな」と思っていました。しかし、いざ操作してみると想像以上に操作しづらく、手こずりました。実際に体験してみないと使用者の気持ちは理解できないことを学びました。御機関では数年で異動があり、毎回ゼロからの出発です。異動先で任された仕事を全うするためにも入念な調べはもちろん、実際に現地へ行って理解を深める必要があると感じました。誠にありがとうございました。

上記以外にも、この度のインターンシップを通して大きな収穫を得ることができました。お忙しい時間を割き、ご指導賜りましたことに心より御礼申し上げます。御機関のご発展と皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げます。